



2011～2012年度 ROTARY CLUB OF TOYOKAWA HOI CLUB WEEKLY

やらまいか

例会日 / 毎週火曜日 12:30 例会場 / 豊川商工会議所 会長 / 山城康司 幹事 / 滝下 勲 会報委員長 / 土井昌司
事務局 / 豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 0533-86-2535 Fax0533-86-8889 H P / <http://toyokawahoi.tank.jp>

クラブテーマ：心と身体を健康に

本年度第32回 通算1240回 平成24年2月21日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	2/7 修正出席率
		56名	29名	59.2%	100%

ゲスト：米山奨学生 ユン・サーヴィン君 ビジター：メーカー受付5名

米山奨学生の旅立ちの激励会



会長あいさつ

山城康司会長

こんばんは。今日の新聞のEUギリシャ支援決定の記事を見られてホッとされた方もおみえかと思います。欧州連合はブリュッセル

で財務相会合を開き、総額1300億ユーロ（約13兆6000億円）のギリシャ第2次支援を21日未明に正式決定した。これにより、さらにギリシャへの監視を厳しくする仕

組みも作る方向だと報道されていました。3月末から4月への日本の経済がどうなるのかです。世界で起きることが、今日、明日もう日本、そして我々に直接降りかかってくる時代を痛感します。この5年ほど、世界的な出来事が、自分の仕事に直結してきたと感じます。それには、健康が第一だと思います。

幹事報告

滝下 勲幹事

例会臨時変更のお知らせ
東三河分区ゴルフ大会について
ロータリー休日について
次回例会について

カウンセラー挨拶

大木健市会員

こんばんは。ユン・サーヴィン君のカウンセラーを1年間務めさせて頂きました。本日は大勢の方にご出席頂きましてありがとうございます。

米山奨学事業は、1ヶ月に1箱のタバコ代を節約して奨学金にという合言葉から始まりました。今では全国10万人のロータリアンからの浄財を資金として奨学金を支給する民間最大の奨学団体に成長しました。日本で学ぶ海外からの留学生を支援して、母国と日本の架け橋として貢献されることを期待します。優秀な留学生に支援を送り続けております。以前、米山奨学会担当例会で、日本で学んだ学友の方々が母国でどんな職業について、どんな活躍をされているのかというDVDを見て頂きました。ユン君も、この春から県内の自動車関連の会社に就職が決まりました。カンボジアからの研修生の窓口になろうとしています。そして、カンボジアの治安の安定とともに、日本企業の誘致を推進し、国内の労働力を上げるという希望を持っているそうです。日本以外の進出もあります。特に中国からの進出が際立っているそうです。しかし、中国は労働力まで自分の国から持ってきているので、カンボジアの発展には今一步なっていないのが現状です。カンボジアの産業の振興や雇用の確保は、喫緊の課題であります。ユン君に掛かる期待は大変大きなものです。

本日は、そんなユン君に温かい励ましのことを頂ければ幸いです。どうぞ、よろしくをお願いします。

激励のことは

山田久就米山委員長

1年間の奨学期間がこの3月で終了すると

言うことで、貴重な米山奨学金を使って勉強をされたので、カンボジアに帰国して大きなプロジェクトを任されたら、是非、日本に貢献するような仕事を廻してくれるようお願いいたします。カウンセラーの大木さんには、熱心にカウンセラーをして頂きましてありがとうございました。

あいさつ

ユン・サーヴィン君

こんばんは。僕が日本に来たのは2004年4月でした。来日して直ぐに日本語の勉強を始め



ました。まったく日本語は変わりませんでした。ですから、日本語がどのようなものか、まったく想像もつきませんでした。カンボジアには日本語がまだ浸透していませんでした。日本語を勉強して、日本語が綺麗だと思いました。日本語だけでなく、日本のことも好きになりました。就職活動中も「なぜ、日本に」と聞かれました。日本が好きになったので、将来のことはわかりませんが、ずっととは言えませんが、出来る限り、春から働く会社とお付き合いができれば良いと思っています。

就職の決まった会社は、ベトナムを中心に海外進出をしています。会社では、海外進出するための架け橋的な仕事をするようになっていきます。会社の技術を学んで、現地の人に教えたり、現地からの研修生を日本に送るような仕事をする予定になっています。ベトナム語はわかりませんが、ベトナム語の勉強も含めて、色々なことを勉強していかないといけないと思っています。頑張ります。今日はありがとうございます。

乾杯

大沢茂樹パスト会長

現在、世界は非常に難しい状況にありますけれども、とにかく若い人たちがこれからの世界を創って行って頂きたいと思います。先程、ユン君から「架け橋」という言葉ができました。架け橋をしっかりと、あっちにもこっちにも創って頂き頂きたいです。ユン君及び皆様方のご健勝を祈念して、乾杯！！

会報担当者：土井昌司会員、来山健一会員
このウィークリーは再生紙を使用しています。